



漫 録



交通情勢調査の前期を觀て

谷 口 松 雄

内務省が、本年度、國費十萬圓を投じて、全國一齊に行ふ國道、重要府縣道の交通情勢調査に就ては、本誌前號にも要領が記載せられ、土木主任官會議での論議の經過も紹介せられて居るが、その前期即ち六月一日から三日迄の調査に就ては、直接觀測に従事する各府縣の當局諸君の訓練が、果してうまく行つたか？ については若干の危惧があつた然し、これに就ては内務省から要領其の他時時通牒、内翰等によつて、或程度までは、全きを期した筈だが、此の情勢調査に就ては、調査の客體となる一般民衆の良き理

解が、必要であるのは勿論である。これに對しては、はじめ山本内相を煩して全國中繼のラヂオ放送をやつて頂く豫定であつたが、丁度放送の絶好の時機である五月下旬に内相が關西に旅行せられたので、其の代りに、中川内務技監が五月三十日午後六時二十五分からJOAKから「全國道路交通情勢調査に就て」と題して講演せられた。放送局のプログラムの關係其の他で、全國中繼放送にすることが出来なかつたのは残念であつたが、それでも東京を中心に關東一帯に於ては、我國道路の幹線たる國道でも現在相當の

規格を具備してゐるものが、二割に過ぎず、府縣道に於ては、僅に一割しか無い状態であるので、今後道路の改良事業は、日を逐て多事である。その改良計畫を樹立するために交通情勢調査をするので、謂はゞ道路の國勢調査を行ふものであるから一般の人も充分なる、理解と援助とを望む」と言ふことを平易に、わかりよい様に數字を挙げたりして二十七八分に亘つての講演は、一般民衆に理解と注意の喚起に大いに役立つたと思ふ。

さて調査舉行前の準備は、大體これで濟んだ、が、果してうまく行くか、何んな様子であらうかに就ては、矢張り氣に掛るので、調査の三日間は、内務省から直接視察隊が街頭に繰り出した。

第一日六月一日は幸先よくも晴天である、先づ街道の旗頭東海道を振り出しにしようといふことになり、前々夜マイクロフオンの前に立たれた中川技監をはじめ、武井道路課長、田中事務官、牧野、三浦、富永の各技師其の他の一行で、ふり出しも正直に日本橋を午前十時にスタートして

京濱國道を南下した。調査觀測地點を一々挙げて面白くないから省略するが、立寄つて聞いた川崎市の六郷橋畔觀測所で、午前十時から十一時までの一時間に、自動車が四百五十臺、自轉車が、五百五十臺と言ふ數字を見て、一寸驚いた。川崎市での此の數字は東京市内交通が混つてゐるのだから、この數字は一口に京濱間の運輸に携つてゐる車の數だと言つても良いのだらうと思ふ。東京府の土木部で昭和八年二月二十三日に單獨で一日間調査した結果によると、京濱國道東京市蒲田區新宿町に於て同日午前六時から午後九時までに通過した自動車の數が、合計六千九百六臺、自轉車が一萬一千二百九十八臺であるもの内一時間の最高は午後四時から五時までの間に六百五十四臺、自轉車は午後五時から六時までの間の千二百二十六臺であるのから推して、私たちの聞いた數字は、一日中の最高では無く、午後になると一層殖えることだらうと思ふそれに二月に府で調べた所は新市域とは言へ東京市内であり、私の見る所では流し圓タクも蒲田の町外れで引返して東京中心に

歸つて行くやうであるから、此の數字には、東京市内の交通も混つてゐるわけだから、川崎市で見た今度の數字が、蒲田で前に調べたものの結果よりも少いと言つた所で、それは比較にならぬ。

さて走る自動車の中の捲き込まれて進んでゐると、壯觀である。東京のトラックは、乗用車に道を譲らなくても料料は取られないとかで、平気で車道の中央限界線をつてゐる、乗用車がこれを追ひ越すことは、なか／＼骨である、強ひて追ひ越さうとすると中央限界線を超えて右を抜く外はない、勿論左を抜く法は無いが、左手は荷馬車や荷車、その左が、自轉車の行列で、何ともならない、自轉車は荷車の隙を見て右手から他の自轉車を追ひ越したがるので、荷車が其の右手に押される。するとその右のトラックや、自動車に脅かされる。開通當時、素晴らしく広い道路が出来たと思つた京濱國道も、今ではスツカリ狭くなつて、これ等の車が、横に押し合ひへし合ひ進んでゐるのだから、まこと亂雜千萬、目まぐるしい限りである。京濱國

道が、交通量の消化をし切れずに、パンクする日も遠くはあるまい。副線道路か、特殊車道が近く現れるだらう。

通つてゐる自動車の船籍ぢやない車籍も、東京神奈川は勿論、群馬、埼玉、栃木、千葉、茨城、西では静岡のものもチヨイ／＼混つてゐるので、新しいもの古いもの、綺麗なもの、汚いもの、千紫萬紅である。

神奈川縣では、觀測所のテント張りや、街路樹など通行者の眼に觸れ易い所に、赤地に白字で「愛せよ護れ壞すな道路」「危い交通注意で安全」「交通調査は道路改良の基礎」などの標語を印刷した長さ一尺五寸幅三寸程のポスターを貼つてゐる、これは、丁度時を同じうして行はれた道路愛護共進會の審査期だつたので、交通調査の宣傳？ と兩用に作つたものの由、面白い試みだと思つた。

横濱市は丁度六月一日から三日間開港五十週年記念祝典があるので、市内交通も自然賑やかとなり、通常の交通數量を測るに適しないと云ふので、交通調査を繰り下げて行ふこととしたため、川崎市を外れたら横濱市内を素通りし

て保土ヶ谷から戸塚へと一號國道を進む。

戸塚では市内目貫の所での國道と、東海道本線鐵道との平面交叉の踏切で、大分停められた。此所を常に歩いてゐる人の話では、十回通つてその内一回ノンストップで通過出来れば、成績が良いとのこと、丁度貨物列車が、長々と通つてそれから横須賀線の下り電車が通つたので、やれ済んだと思つて身構えをしてゐたのに未だ遮斷機が開かない、早くすれば良いにと思つてゐたらしばらくして横須賀電車の上りが通る。それまで待たされる。

神奈川縣では、交通調査で交通量の調査と共に、鐵道の踏切箇所で、止められる時間、回数の記録をとることにしてゐるので、踏切際に、係員が頑張つて、踏切看守人の遮斷機を開閉する手と時計と、にらめっこである。今日は踏切看守人も、氣持が悪いだらう、何分何十秒まで、記録されるので、平生の様に「暫らく控へて居れ」と言つた恰好で、ノタリノと開閉をやつてゐたら、閉鎖時間が、グン／＼／＼多くなつて行く。と言つて時間を縮めて、早く通行を

許したり閉すのを出来るだけ遅くしたりして若し事故でも起したら、それこそコトである。看守人君甘酸っぱい顔をして服務してゐる。

此所での最大閉鎖時間は、未だ聞くよしも無かつたが、四分間、五分間と言ふ數字を見せられ、また一時間の停止回数が十数回、二十回と言ふ説明を聞かされた、一臺の自動車が一時間待たされたら、時速三十哩として二哩半から三哩ぐらゐ遅れる、一回に五十臺止められるとすると百哩から百五十哩遅れる、それが一時間の停止回数二十回として二千哩から三千哩の損失で、東京から下關まで往復してまだおつりが出る。これが一時間の損失である、一日總體の數字を出したら莫大な損失である。

自動車が一時間待つてゐる間は、エンジンも止めて待つてゐるから損は無いと考える人があるかも知れぬが、恐らく待たされてゐる自動車の運轉手で、そんな克明な人は居ない。すべての自動車はエンヂンをかけたまゝで待つ、何分間止めるとことわりも無いわけだからいつ開門されるかわから

ないのに、エンヂンを止めて、開門してスタートをかけて
なんてそんな生ぬるいことを、今頃のスピードイナ時にノ
ソソやる者が何處にある。だから前書いたやうな損失は、
實際に近いものと斷言しても良からう。

一號國道を藤澤まで視察して左折し府縣道を鎌倉を経て
大船から横濱までを見てまわる、途中二ヶ所の踏切でも戸
塚と同様看守人と觀測員と睨めつこをやつてゐる、が流石
に國道のものよりも閑散である。横濱市内には前記の開港
五十週年祝典で花電車が、走つてゐるが、お祭りのために
特に交通が殖えてゐるとも見えなかつた。特別の催しが無
かつたせむもあるだらう。横濱からは一號國道を引返して
東京に歸る。

× × ×
第二日六月二日は朝の天氣模様が怪しいので、一寸心配
だつたが、東京府ではやつてゐるとのことに、視察隊も出
かけることになり。今日は、山本内相と關西方面に旅行さ
れ昨夜歸られたばかりの唐澤土木局長が視察せられること

になる。武井道路課長、田中事務官、三浦技師の一行で、
八號國道即ち甲州街道を日比谷の觀測點をはじめとして順
路を見てまわる。

觀測係員も朝の五時から晩の九時まで、緊張し詰めて觀
測してゐるのは大抵ぢやない、一々立ち寄つて勞を慵ふ言
葉をかけて行きたいが、出来るだけ多くの觀測點を見てま
わりたいから、それも出来兼ねるので、今日からは挨拶の
言葉の代りに、「道路交通情勢調査ノ御努力ヲ感謝シ正確ナ
ル記録ヲ蒐取シテ本調査ノ目的ヲ達成セシメラレムコトヲ
懇囑ス 内務省土木局」と印刷したビラを自動車を片寄せ
ては渡しつつ次に移る。

四谷から淀橋を経て笹塚に出る、こゝは、府で執行の國
道改良工事中で中央の車道となるべき所へ、テント張りの
觀測所が設けられてゐる。甲州街道から東京への咽喉部で
あるので、工事中ではあるけれど相當の交通量はあるが、
と言つても京濱國道程のことは無いのも尤もだと言ふ外は
ない。

笹塚から先は、大東京市とは言へ次第に軒並がまばらに

直轄國道改良工事の執行中で、今の所交通上稍不便だが、

なつて来て、觀測所も、民家の

完成したら、現在の急勾配、急屈

軒先や、茶店でやつてゐる所も

曲が夷平せられて、何れ程便利に

ある。ウツカリしてゐると通り

なるだらう。

過ぎてしまふ、調べる方は、通

省線中央線の小佛トンネルの煤

行者が氣がつかなくても何でも

煙も電化によつて樂になつたが、

レコードしてゐるに違ひないが

それから二軒ばかり南を走る八號

御苦勞様の一言も置いて行きた

國道も大垂水峠の改修によつて、

い者には、淋しい。

東京から山梨長野方面の交通に一

府中町から日野町までは、内

新紀元を作つたものと言ひ得る。

務省直轄の國道改良が済んでゐ

改良工事完成の日以後の交通情勢

るので、快適なドライブが出来

が早く見たいものと思ふ。

る。改良された道路の有難味が

大垂水峠を、神奈川縣側へ下つ

しみぐと感ぜられる。

て、與瀨の町へ出て、桂川に添つ

八王子市を経て、多摩御陵に

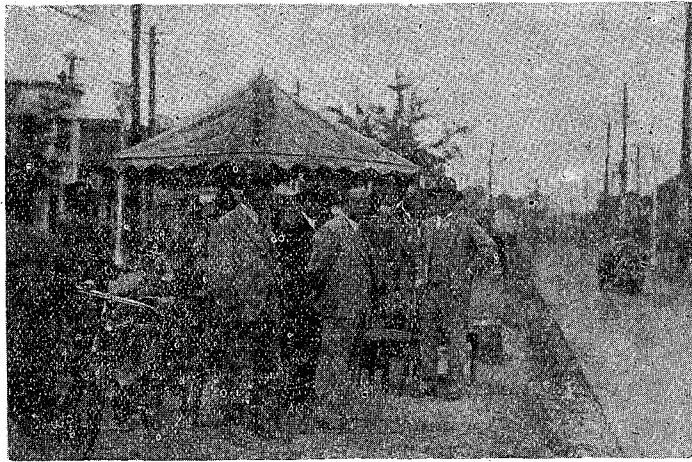
て下り中野町から更に八王子市を

參拜し淺川、高尾山麓を神奈川

突き抜けて、拜島から左に、羽村

縣界の大垂水峠にかゝる、淺川町内から兩府縣に跨つて、

へ廻つて、東京市水道の多摩川取入口を視察する、綺麗な



笹塚より唐澤土木局長井道課長田中事務官三浦技師

省線中央線の小佛トンネルの煤煙も電化によつて樂になつたが、それから二軒ばかり南を走る八號國道も大垂水峠の改修によつて、東京から山梨長野方面の交通に一

水の中には、解禁になつたばかりの鮎を漁る人が遠くに見
ある。

える、柳の葉の様な小鮎の何尾
かが、犠牲になることだらう。

羽村から箱根ヶ崎を経て、村
山貯水池を見せて貰ひ、東京市
民の胃の腑の大きいのに今更驚
いて、田無町から杉並町を経て
途中の観測所に、ピラを撤きな
がら東京に歸つたのは黄昏時で
ある。

× ×
第三日の六月三日は快晴、今
日は九號國道中仙道を視察しよ
うと決つたが、用務のため出發
が遅れて午前十一時内務省を出
發、顔振れは昨日と同じく唐澤

土木局長以下唯三浦技師が、所用のため不參であるだけで

同時に、踏切に於ける、遮斷の時間及回数とを調べてゐる



神上 奈 見 大 垂 水 峠 九 十 九 折
道 國 道 側 縣 川 奈 神

コースも克明に、松住町から本
郷通りを東片町から巢鴨板橋へ出
て行くのであるが、板橋の警察署
前から志村の内務省直轄改良國道
までの間は舊態依然の街道で、人
馬絡繹汚穢屋の馬車も、三十三年
型の高級自動車も肩輹相摩して進
む外はない。志村の改良せられた
區間に出たら、ホツとする。

戸田橋北畔、埼玉縣と東京府の
境に埼玉縣の本街道第一の観測所
が設けられてゐる。小林埼玉縣内
務部長が、一行をこゝまで出迎え
てゐられたのには恐縮した。

埼玉縣では、今回の交通調査と

上に、いつも此の縣や、千葉縣で問題になつてゐる他府縣の自動車のために道路を損壞せられる度合が甚しいので、通行する自動車の車籍を調べてゐる。そのために、觀測所に警察官が張り込んでゐて、車籍から行先に加へて免許證まで見せて貰ふことになつてゐるので、一寸運轉手には氣持が悪い、一行の自動車も歸りに松山町で「何處へ？」を喰つた。時々此うした検査は交通危険防止から言つて良い事である。ところが、埼玉縣で、此うした検査をやつてゐる事が知れて、無免許運轉手の自動車が、調査期間中關所を通らないので平生の交通量よりも少い様でありますとのことだ、一寸藥が利きすぎて、交通調査の眞目的から言へば角を矯めて牛を殺したことになるはしなかつたかを恐れた。

それから、埼玉縣に限らない事だが、六月初めと言へば、お百姓の多忙な時期なので、これがため交通量が、相當減じてゐるといふことである。農家戸數の割合が多い府縣では、前期の調査期に於て、此の點、大分割引せられた數字

が出るのだらうと思はれる。

さて、中仙道の埼玉縣の第一關門戸田橋畔での、六月二日一日間に於ける、自動車の通過數量は、自動車が、千二百二十一臺、それが、浦和では四百九十九臺、熊谷では二百一十一臺、と漸次減つてゐるが、自轉車に於ては戸田橋で二千二百十三臺、熊谷で四千四百臺となつて居り、自轉車が地方に於ける交通用具として重要な地位を占めてゐることを證明してゐる。

踏切に於ける遮斷時間は浦和で、二日に四分十秒と言ふレコードが出たさうだ。三日の朝八時から九時までの一時間間に九回遮斷されたさうだ、東北本線、信越線、上越線その他に、大宮赤羽間の電車の延長等で、遮斷回數は、これから一層多くなるだらう、交通幹線に於ける平面交叉に依り蒙る有形無形の損害が惜しくてならない。高低交叉にするために投ずる一回數萬圓乃至十數萬圓の工費は、昔年ならずして銷却出来る。また鐵道當局としても、一ヶ所の踏切に年二千圓を下らない經常費を節減することが出来るわけ

だから、道路は道路、鐵道は鐵道と、獨立自尊で白い眼ばかりしてゐないで、お互に協調して費用の分擔をやつて、此の國家的損失を一日も早く消してもらいたいものだと思います。

視察は中仙道を高崎まで行くつもりでゐたが、出發が遅かつたため、熊谷で左折して府縣道を、松山町、川越市を経て沿道の觀測地點を見つつ東京に歸つた。東京府との境の朝霞の觀測所では、ゴルフリンクスがあるので、今日の土曜日は、東京からゴルフ黨が多勢押しかけて來たから、平生の數字を申上げ兼ねますが、と苦笑してゐた。尤も千萬。所が、此處の府縣道は、立派に六間幅の道を府縣界からゴルフリンクの方面まで改修してゐるのに、小川一重の東京府では舊態依然たる道路であるのが、奇觀を呈してゐる。何でも、はじめは、東京と、埼玉とで相談してやつたんださうだが、埼玉縣が、工事をやる時には、東京で工事が出來なくなつたとかで、こんな妙な恰好になつたまゝになつてゐるんださうである。府縣界の道路改良工事の執行

によくある例ではあるが、此れ等の弊害は何とかならぬものかと思ふ。大體府縣界の道路はその府縣の中心地から離れてゐるため、當該府縣に於てさへ、得てして閉却され勝ちなもので、維持修繕の手入れさえ、肺炎カタル式に縣界に近づくに従つて悪くなつてゐるものだが。改良工事の執行となると、先づ自分の府縣の道路としてはあまり重要でないからと言ふので、ツイ後廻しにされ勝ちで、前述べた様な妙なことになる。鎖國の氣風に馴らされた日本人の頭は、今日のように何處へでも自動車が発馳し得る時代には不當である。もつと太ッ腹な改良計畫を樹て欲しい。内務省直轄の國道改良工事が府縣界に起されるのが多くなるのも此うした氣風が、原因するのだとも言ひ得る。

×

×

扱て前期の交通調査の視察は終つた、はじめ懐いた危惧も、府縣當局や、觀測係員の熱心な研究と觀憂によつて、調査が正確に進んでゐるのを見て、單に杞憂に過ぎなかつたことを喜んだ。後期の十月十八日から三日間行はれる調

査に於ては、今回の經驗によつて一層正確、迅速なる調査が完成せられることは疑の無い所で、その結果現れた數字が、將來の我國幹線道路改良計畫の基礎確立の重大な役割を演ずるであらうことも亦今から明言し得る。

今回の調査觀測に縣の土木部課員が殆ど總動員であつたことは言ふまでもないが、これを應援した青年團員や、在郷軍人會員が、ユニフォーム姿凛々しく活動してゐたのは見る者をして快い感じを起させた。たゞ、或る府縣で、それ等の應援の人々に、觀測の手當として、一日九十錢とかを渡してゐる話を聞いて、一寸暗い氣持がした。これは、應援する人の方から求めたのか、府縣の方で自發的に渡したのか、どちらか知らないが、社會の中堅として立つてゐる此れ等の人が、奉仕的にやつて貰つたら何んなに此度の交通調査が、美しい話題と、快い結果を齎したか知れないのに、各自の正業を休んだとは言へ、此うした國家的事業の應援に、現今普通の一日の賃金に近い金が授受されたと聞いては、世相の世智辛さを見せつけられ世の中の温か味

が無くなりつゝあるやうな氣がしてならなかつた。これはホンの一部の出來ことに過ぎないだらうと信じた。が、此うした氣分が、何處かに残つてゐる間は、道路の改良に就ての美しい話題が、簇出する日が近くにはあり得ないやうな氣がして悲しい。社會教育者の方々に、何等かの方法を以て傳へたいと思ふ。(終り)

電車でのユーモア

得てして公營の事業は、やり方が役所式で、コチ／＼してゐる、お役所を笠に着た従業員の態度が、時には威壓的である場合もあり不快なものだが、近頃は鐵道省でも列車内サービスに注意して、時々専務車掌が、此の驛を出發して二つ目のトンネルを出たらすぐ右手に見えるのが、甲斐の猿橋で御座います、日本三奇橋の一つ、水面上の高さ百三十尺で御座います、などと案内してくれる、さう言ふものにあまり關心を持たぬ者にも、氣持の良いことである。

過日東京市電で、乗客が乗り込む時下駄を片足落して踏み込んだ、穿かうとしても周章で「マゴ／＼」してゐる、此の場合「エーお早く！ 出ますよツ！」と呷鳴られるのが通常だが、氣の輕さうな車掌君が、「下駄を穿いて電車に乗つてもかまわなんでしょうよ(土足嚴禁でない意味で)」と笑ひながら言つて待つて居た。乗り込んだる者も此の輕い氣分に微笑するし、その人も、氣まり悪さうでも、笑ひながら乗り込んでテン／＼。(松)